

ぬまづ憲法9条の会

133号

事務局
神田健夫
921-7755

憲法くん 元気で 長生きできるよう 今年も新聞意見広告

「憲法くん 70歳」

コメディアン松元ヒロさんは、政治風刺やパントマイムのソロライブで全国を飛び回っています。沼津でも2回ほど公演がありました。

その松元ヒロさんが、自らのライブを絵本「憲法くん」（講談社、絵武田美穂さん）にして昨年末に出版しました。



松元ヒロ
武田美穂

条約で米軍に基地を提供し、朝鮮・ベトナム・アフガニスタン・イラクなどアメリカの戦争に協力してきました。歴代政府が憲法に違反し行ってきた歴史も直視する必要があります。

日本国憲法を「みつともしない憲法」とのしる安倍首相は、施行70年の今年、「次の新しい70年」に向けて日本国憲法をお終いにしようと言って張り切っています。

みんなで力を尽くす

だから、松元ヒロさんは言います。

「憲法くんは、まだまだ元気です。平和のことも政治のことも、楽しく語り、笑いととも考えていくつもりです。だからみなさん、憲法くんがいつまでも元気で長生きできるように、みんなで力を尽くしましょう」

この呼びかけと同じ気持ちで、県下の9条の会が共同して、今年も5月3日の

憲法記念日に向け、新聞意見広告に取り組みます。

□読売新聞全県版1面

□5月3日（新聞社の都合で変更の場合あり）

□氏名掲載 500円

□申込4月15日まで

憲法、なかでも9条の戦争放棄の堅持に向けて、よびかけ文、イラストなどは今後検討していきます。

昨年、沼津で874名、県全体で5168名を超える賛同がありました。今年もまた、多くの方が参加されるよう心から訴えます。

春のコンサート中止に

3月11日に予定していた春のコンサートは、ヴァイオリン奏者の池田敏子さんが怪我したため、中止することにしました。

楽しみにしていた方々には大変申し訳ありません。ご理解のほどよろしくお願ひします。

ぬまづ憲法9条の会

・グループ鳥の歌

「改憲を断念させましょう」
2月19日集会
パレード（第21回）

「改憲派は国民投票で300万人の支持が必要と計算している。前回の参議院選挙の結果は、自民党、公明党、維新の会の得票は3283万票。改憲可能となる。世論を変え、野党共闘の力で、次の衆院選挙で三分の一の議席を得て、改憲発議を断念させましょう」との事務局の挨拶。会場からの発言などの後、パレードに。

「改憲を断念させましょう」
次回の集会・パレード

○3月19日・日曜

13…30、荒天中止

○会場 沼津中央公園

………

「南スーダンから撤退を」

スタンディング

○3月18日、25日（土曜）

13…30、14…15



ただ同然の国有地売却 と教育勅語の唱和

大阪・森友学園へのタダ同然の国有地売却は、手続も異例づくめで、闇の世界。そのスキャンダラスな実態を、やつとテレビなどマスコミも報じ始めた。

安倍首相夫婦の心酔

森友学園が経営する塚本幼稚園の運動会では園児に「・・・安倍首相ガンバレ、安倍首相ガンバレ・・・安保法制、国会通過、よかったです」などの選手宣誓までさせている。

安倍昭恵首相夫人は幼稚園での講演会で「(幼稚園の)教育方針は、大変、主人も素晴らしい思っていて」などと挨拶し、新設の小学校の名誉校長を務めていた。塚本幼稚園は、園児に教育勅語を暗誦させている。新設の小学校でも教育勅語の素読(そらんじる)を行

うという。

安倍首相夫婦の心酔は何を示すのだろうか？

一旦緩急あれば(いざというときは)、天皇に命を捧げる、教育勅語の世界への回帰である。

教育勅語は、1948年に衆参両院で排除・無効の決議がなされている。勿論日本国憲法は、その条規に反する詔勅等の無効を宣している。内閣総理大臣が憲法違反の教育に心酔しているとは言語道断であろう。

財務省は、土壌改良費用を巡る会合の記録をすでに廃棄したという。ここでも安倍政権は、得意技の文書廃棄を活用し、事態を隠蔽しようとしている。闇の解明への期待は切である。

日米首脳会談へつらい

アメリカ第一というトランプ大統領は、中東・アフリカ7か国からの入国禁止を発令した。アメリカの司法は無効と断罪した。サミツ

ト5か国首脳も厳しく批判した。安倍首相は不問に付した。日本の人権感覚と孤立を際立たせた。

日米同盟第一を掲げる安倍首相は。訪米前に沖縄・辺野古新基地建設の再開を強行した。大統領への手土産である。また「米国製の兵器購入は米国の経済や雇用にも貢献する」とまで言った。

これらのことを日本のマスコミは深く分析し、人々に判断材料を的確に報じたのだろうか。

その後のフロリダでのゴルフ。テレビで二人がハイタッチする場面が繰り返し放映される。NHKはじめ「アベ、ヨイショ」の報道ばかりと言つてよいのでは？

それにしても沖縄は

東京MXTVは、沖縄を巡る番組について「問題ない」との報告書をまとめたという。驚きである。また、東京新聞も、番組司会

者の論説室副主幹を論説委員に降格させるに止まった。それにしても、沖縄は散々である。琉球新報・沖縄タイムス2紙をつぶせの暴論、機動隊による2紙記者の取材現場からの排除、運動リダー・山城博治さんらの長期拘留、高江着陸帯、辺野古新基地建設強行、島々への相次ぐ自衛隊配備。

蹂躪(じゅうりん)され続けている。諦めずに頑張っている。連帯したい。

◆◆◆◆◆
□労働者の実質賃金は安倍政権発足前に比べ、年収10万円もマイナス。過労死が相次ぐのに「残業代ゼロ法案」は撤回もせず、残業規制も繁忙期は100時間越えも認めるといふ。

□共謀罪は過去3回廃案となった。名を変えて法案を提出するという。導入すれば、戦前の治安維持法のように普通の人々の思想をも縛るために猛威を振るうことになろう。食い止めねば。

□平和に生きる権利を全ての人に認める「平和への権利宣言」が昨年末に国連総会で採択された。「全世界の国民が、等しく恐怖と欠乏から免れ、平和のうち生存する権利を有する」とする日本国憲法前文と響き合う。大切に生かしていきたい。だが、日本政府は採択に反対した。

□福島原発事故から6年。8万人もの避難民をよそに、オリンピック準備はにぎにぎしい。原発発電の費用は安くない。高速増殖炉に夢はない。核ゴミ最終処分も見通せない。原発再稼働と原発輸出に精を出す。

政府・財界にとって人間の命・安全、自然の営みは眼中にないのだろう。

□沼津朝日に「大沼明穂様」市長の変節」などの投稿が相ついでいる。鉄道高架推進、見直しを別にして、市長の公約違反は市政の重大かつ深刻な問題と思う。